

市長の施政方針に対する質疑

Q 購入した稲吉南二丁目の約2万8000平方メートルの土地の利活用について伺います。

A 当該地につきましては、中心市街地地区都市構造再編集中支援事業に位置づけ、国の補助金を活用し、整備する方向で検討しております。親子で楽しめる公園やくつろぎと語らいの公園などをイメージするにぎわいのある公園などを、現在のところ候補とさせていただいておりますが、民間等の活力を有効に生かしたよりよい提案や方法等があれば検討させていただきたいと、柔軟に考えております。

Q (仮称)千代田パーキングスマートインターチェンジの展望について伺います。

A 市として主体性を持ち、戦略的に企業を誘致していかねばならないと考えております。例えば、地場産業との連携を視野に入れて誘致することや、進出企業の継続的な成長を支援する仕組みづくり、そしてニーズに合った産業用地開発に向けた手続等を整理してまいりたいと考えております。また、地域にとっては経済的にも人流としても、新しい流れができるということですので、これを契機に新しい産業、新しい誘客、そういった対策を講じて地域を活性化させていきたいと思っております。



▲千代田PA周辺

Q 過疎地域持続的発展計画における過疎債を用いた具体的な展開施策について伺います。

A ソフト事業は霞ヶ浦地区のスクールバス運行事業です。また、ハード事業につきましては一部市道改良工事、舗装補修工事、道路排水整備工事です。これらの事業に過疎対策事業債、合計1億2510万円を活用する予定です。現在、地域としての課題がクローズアップされたような状況になっております。過疎地域持続的発展計画は、今後の地域の再興に向け、有効な起債である過疎債を様々な事業に利用できるように策定しました。地域をよく知っている方のお知恵いただきながら、持続的発展につながるような事業に活用していきたいと考えております。

Q 農林水産業の発展に向けた具体的な支援方法について伺います。

A 農林水産業の発展を図るためには、生産者への継続的な支援をはじめ、担い手の確保と育成を重視していく必要があります。特に、基幹産業である農業の担い手については、農業を営もうとする青年等に対し、それぞれの青年等就農計画の作成を促し、就農相談から就農、経営定着の段階まで、農地中間管理機構や農業改良普及センター及び農業協同組合等と連携し、きめ細やかに支援する体制を構築しております。また、地域特性を踏まえ、果樹生産の振興に関しては、農業研修生の受入れ農家に対する支援や、経営継承の合意締結祝い金及び農業継承者に対する準備資金の支給を継続して行ってまいります。

関連して、中志筑地区において梨の大規模生産事業計画が進行しており、参入企業によって約10ヘクタールの梨園が令和5年度までに整備される予定で、茨城県や所管土地改良区と連携した支援を行っております。

Q 有害鳥獣対策に係る猟友会との協力について、具体的な対策を伺います。

A 本市の猟友会会員の協力を得て行っております有害鳥獣捕獲事業は、会員の中から捕獲隊として選抜された隊員が、市からの依頼により実施しております。

内容としましては、鳥類は銃器による捕獲及び適正処理、そしてイノシシについては、箱わな、くくりわなの設置、見回り、維持管理、捕獲、適正処理となります。千代田地区においては、イノシシ捕獲箱わなの餌をアライグマやハクビシン等の小動物に食べられてしまう被害が多く発生しており、令和5年度予算においては、小動物の一連の処理に対する経費を計上させていただいております。また、カラスの捕獲事業委託についても被害が多く、委託回数を1回増やしております。猟友会の皆様のご協力は不可欠ですが、会員の減少や高齢化の問題があります。石岡や土浦も同じ課題を抱えておりますので、広域連携なども視野に入れながら取り組んでいきたいと考えております。